

創業 300 周年を迎えた大丸が 300 年後の「2317 年」まで本気で続ける“大型新プロジェクト” 「300 年クローゼット」プロジェクト始動

～お客さまにとってかけがえのない思い出の一品を、300 年先の未来へ～

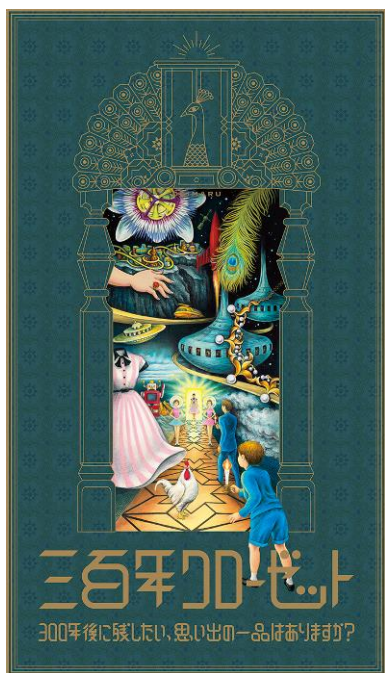
＜特設サイト： <https://300closet.jp>＞

- (1) 「300 年先の未来へ届けたい思い出の品物とエピソード」を募集（12 月 21 日～2018 年 1 月 31 日）
 - (2) お客様の思い出の品物とエピソードを特設サイトで動画公開（2018 年 4 月以降～）
 - (3) 大丸心斎橋店本館建替え時に新設する「300 年クローゼット」で展示予定（2019 年予定）
- ＜特別コンテンツ＞メディアアーティスト・落合陽一氏による未来に向けたメッセージを公開



三百年クローゼット

▲「300 年クローゼット」ロゴ



▲「300 年クローゼット」世界観イメージ

2017 年、大丸は創業 300 周年を迎えました。大丸松坂屋百貨店では、この大きな節目に、さまざまな 300 周年記念企画を展開してきました。その 300 周年記念企画の締めくくりとして、12 月 21 日（木）から、新プロジェクト「300 年クローゼット」プロジェクトをスタートすることを発表いたします。

「300 年クローゼット」プロジェクトでは、お客様がお持ちの大丸ゆかりの品物とその品物にまつわるエピソードを、12 月 21 日（木）から特設サイト（<https://300closet.jp>）および郵送にて募集いたします。ご応募いただいた品物とエピソードは、本プロジェクト事務局にて内容を拝見させていただき、いくつかの品物とエピソードを映像にて公開します。さらに、選ばれた品物とエピソードは“大丸での幸せなお買い物体験”の象徴として、2019 年秋に予定している大丸心斎橋店本館建替えの際に館内に新設する「300 年クローゼット」にて展示する予定です。

本プロジェクトを通じて、「大丸は、これからの 300 年もこれまでと変わらずに、お客様一人ひとりの幸せをお手伝いするために存在し続ける」という覚悟をお客様にお伝えするとともに、お買い物がつくる幸せを、この先 300 年も支える存在であり続けます。

＜本件に関する報道関係者からのお問合せ先＞

大丸創業 300 周年記念「300 年クローゼット」プロジェクト PR 事務局【電通 PR 内 担当：青山】

【TEL】03-6263-9167(携帯 080-2192-1143)【MAIL】taiki.aoyama@dentsu-pr.co.jp

■「300年クローゼット」プロジェクト概要

(1)「300年先の未来へ届けたい思い出の品物とエピソード」を募集(12月21日(木)~2018年1月31日(水))

お客様がお持ちの大丸ゆかりの品物とその品物にまつわるエピソードを募集します。

応募要項

■募集内容 2017年、創業300周年を迎えた大丸が、お客様の大丸にまつわる大切な一品の、思い出のエピソードおよび現物を募集いたします。選出・選定の結果、300年先の未来まで、お客様へ幸せなお買いもの体験を提供し続けるお約束の証として、大切な一品をそのエピソードとともに大丸の心齋橋店にて展示する予定です。

■募集期間 2017年12月21日(木)~2018年1月31日(水)
※WEB応募の場合は〆切日の23:59まで、郵送応募の場合は〆切日当日の消印有効となります。

■応募方法 特設サイト (<https://300closet.jp>) の応募専用フォームに必要事項を入力いただくか、次の必要事項を記入した用紙(書式自由)を添付して郵送にてご応募ください。
※郵送応募の詳細は、特設サイトまたは大丸各店案内係までお尋ねください。

■必要事項 1. 大丸にまつわる大切な一品の名称(ご応募の時点では現物のご送付はしないで下さい)。
2. 1.の品物に関する思い出のエピソード(800字以内 書式自由)
3. お名前 / 4. 郵便番号 / 5. ご住所 / 6. 電話番号 / 7. 性別 / 8. 年齢 / 9. 職業
10. メールアドレス(WEB応募は必須。郵送応募は、ある方のみ。)

■大切な一品の思い出のエピソードについて

800字以内(原稿用紙/ワープロ、縦書き/横書き、いずれも可)でまとめてください。

WEB応募の場合は応募フォームからアップロード、郵送応募の場合は同封ください。

■大丸にまつわる大切な一品について

応募時点で大切な一品の現物が存在し、品物を確認できる状態にあることが、ご応募いただく条件となります。

※品物自体を、直接事務局へ送付しないでください。お送り頂いた場合、受領することができません。

■応募条件(一部抜粋)

- ・大丸にまつわる大切な一品の現物をお持ちのうえ、その一品にまつわるエピソードとともにご提供いただけること
 - ・応募時点で大丸にまつわる大切な一品の現物が存在し、品物を確認できる状態にあること
 - ・品物は各店と関連のあるものにさせていただきます
 - ・提出されるエピソード、品物に虚偽がないもの ・2018年2~3月で取材等にご対応いただける方
 - ・撮影、エピソード、ご本人の公開にご了承いただける方 ・ご応募は日本国在住者の方に限ります
- ※詳細な応募条件は、特設サイト (<https://300closet.jp>) をご参照ください。

■お客様からのお問い合わせ先

応募方法や「300年クローゼット」に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

大丸 創業300周年記念企画「300年クローゼット」プロジェクト事務局

電話: 03-3404-8055 ※電話受付時間 10時~17時(土日祝日・年末年始除く)

(2) お客様の思い出の品物とエピソードを特設サイトで動画公開 (2018 年 4 月以降～)

お客様からの応募内容は、本プロジェクト事務局にて拝見させていただいた後、一部の方には個別にご連絡し、直接お話をお伺いします。その様子は、大丸での幸せなお買い物体験のエピソードとして映像に収め、2018 年 4 月以降に、特設サイト (<https://300closet.jp>) にて公開予定です。

(3) 大丸心斎橋店本館建替えの際に新設する「300 年クローゼット」で展示予定 (2019 年予定)



▲ <イメージ>大丸心斎橋店本館外観 (御堂筋側から)

2019 年秋に予定している大丸心斎橋店本館建替えの際に、大丸心斎橋店の店舗内に「300 年クローゼット」を、新設します。

直接お話をお伺いしたお客様の品物とエピソードは、幸せなお買い物体験の象徴として、この「300 年クローゼット」にて展示を予定しています。今後 300 年間にわたり、大丸が保管する予定です。

<株式会社大丸松坂屋百貨店 代表取締役社長 好本 達也より 本プロジェクトにあたり>

大丸はお陰様で創業 300 周年を迎えました。これもひとえに、お客様のご愛顧とご支援によるものと深く感謝しております。これまで大丸は、お客様のハレの日に寄り添い、人生をより豊かにするお手伝いをしてきました。そんな大丸が、創業 300 年の節目を迎えた今だからこそできる、新しい挑戦が、本日発表に至った「300 年クローゼット」プロジェクトです。

このプロジェクトは、大丸にゆかりのある大切な思い出の一品を、お客様の思い出と共に後世にお届けするプロジェクトです。このプロジェクトの目的は「大丸が、これからの 300 年もこれまでと変わらずに、お客様一人ひとりの幸せをお手伝いするために存在し続ける」という覚悟をみなさまにお伝えすることです。

〈特別コンテンツ〉メディアアーティスト・落合陽一氏による未来に向けたメッセージを公開

今回、本プロジェクトの解説者として、日本のみならず世界からも注目を集めるメディアアーティスト・研究者である落合陽一氏から、300年後の未来に向けたメッセージをいただきました。

落合氏が考える「300年後の未来予測と300年後の人類に残したいもの」とは何なのか。落合氏ならではの鋭い視点を垣間見ることができるメッセージ映像は、特設サイト内ページ (https://300closet.jp/#ochiai_miraiyosoku) の他、大丸松坂屋百貨店公式 Youtube チャンネルにて12月21日（木）から公開します。

＜メディアアーティスト/研究者・落合陽一様より本プロジェクトにあたり＞

Q：300年後の未来はどうなっていると思いますか？

A：300年前に何がなかったかと何があったかを考えてみると、300年前は円でお金を使わなかったし、鉄道もなければ電気もなかった。テクノロジーも変わるし、人間の制度もだいぶ変わってしまっているのが、300年の長さだと思います。（今の）言葉も考え方も通じないだろうと思います。

でも、例えば陶芸のお椀など、300年前に作ったモノを手にとってみると、このお椀を手で触って何か飲み物を飲んだということは、我々の身体ベースならばわかる。300年間モノを保存するということをする、（現在の我々の）何かしらの手触りの感覚とか生活の感覚というものを、将来その時代を生きる人が思い出すきっかけになるのではないかと思うわけです。

（300年後は）テクノロジーは大きく変わり、考え方も新しくはなっている。変わらないものと変わるもの、その差を考える上では、モノをフィジカルに誰かが残すのは大切なことなのではないかと思います。

- ・ 特設サイト : <https://300closet.jp>
- ・ メッセージ映像 : https://300closet.jp/#ochiai_miraiyosoku

※メッセージ映像は記事内で埋め込み、ご紹介いただけます。



©Masato Kato

■落合陽一氏 プロフィール

1987年生まれ、2015年東京大学大学院学際情報学府博士課程早期修了、博士（学際情報学）。その後、ピクシーダストテクノロジーズ株式会社創業、フェーズドアレイ技術やデジタルファブリケーション技術の開発に関わる。2015年より筑波大学図書館情報メディア系助教 デジタルネイチャー研究室主宰。2017年よりピクシーダストテクノロジーズ株式会社と筑波大学の特別共同研究事業「デジタルネイチャー推進戦略研究基盤」基盤長/准教授。機械知能と人間知能の連携について波動工学やデジタルファブリケーション技術を用いて探求。